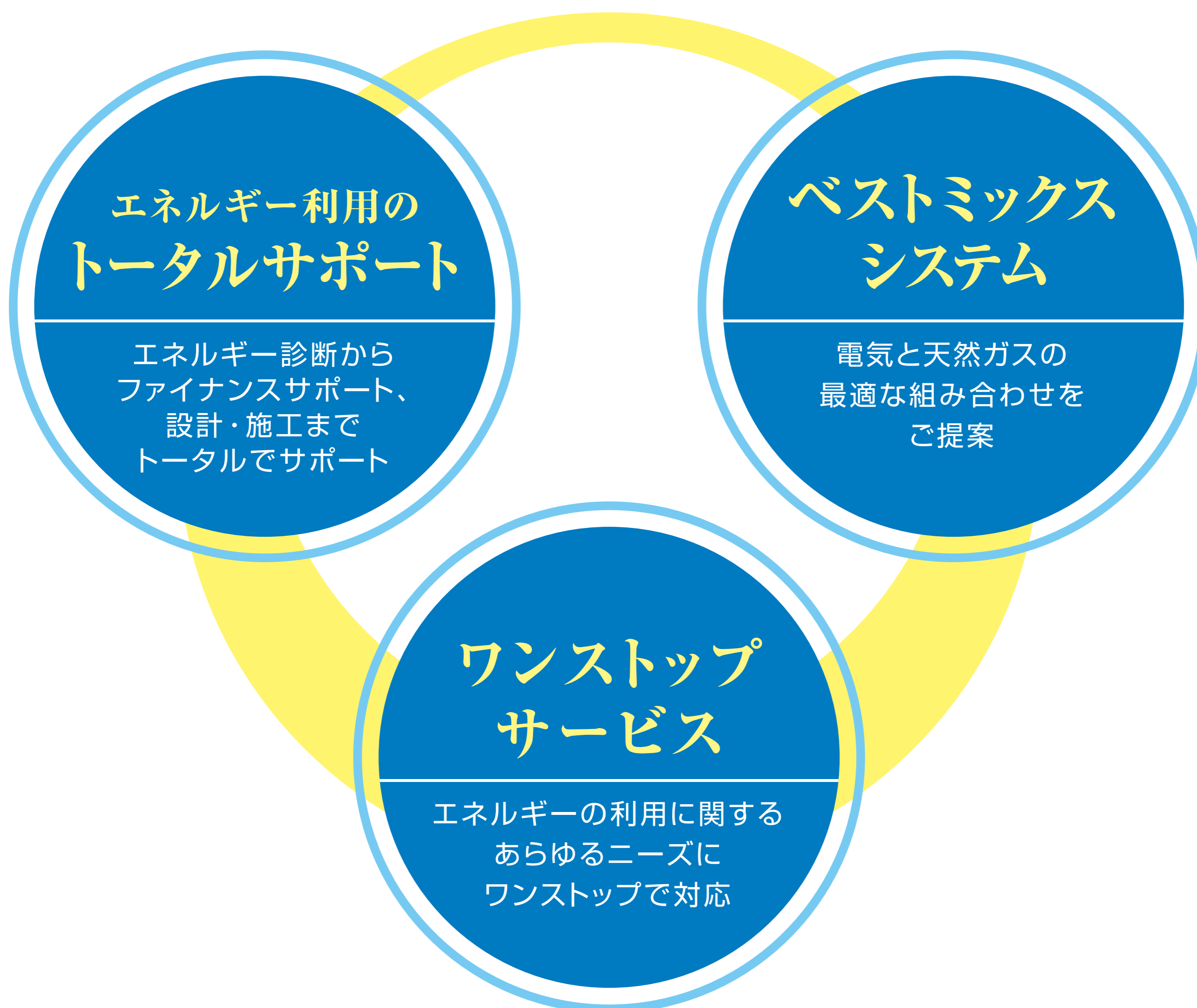


沖縄電力グループ 総合エネルギーサービスについて

沖縄のエネルギーをトータルサポート

地球環境保護や経営効率化が求められる昨今、省エネ・省CO₂への取組みと、エネルギーコストの低減は、経営における重要課題となっています。

沖縄電力グループでは、電力の安定供給に加え、平成27年度より天然ガスの供給を開始しました。地域と共に地域のために、沖縄電力グループは「総合エネルギー事業者」としてエネルギーを通じてお客さまの事業運営の最適化・安定化をお手伝いします。



ワンストップサービス



*ESP(エネルギー・サービス・プロバイダ)事業: お客さまに代わり、熱源設備等を保有・運営・管理を行う事業

総合エネルギーサービスについて

サービスの流れ

STEP
1

エネルギー診断

① 現状のデータに基づく調査

お客様のニーズを確認させて頂いた上で、日報等を活用して、現在のエネルギー利用状況の分析を行います。

② 設備の稼働状況調査

空調、給湯、蒸気、自家発電設備等の熱源機器について、必要に応じて計器計測も行いながら詳細な稼働状況を調査します。

熱源室の確認



お客様設備の稼働状況を確認

排温水状況確認



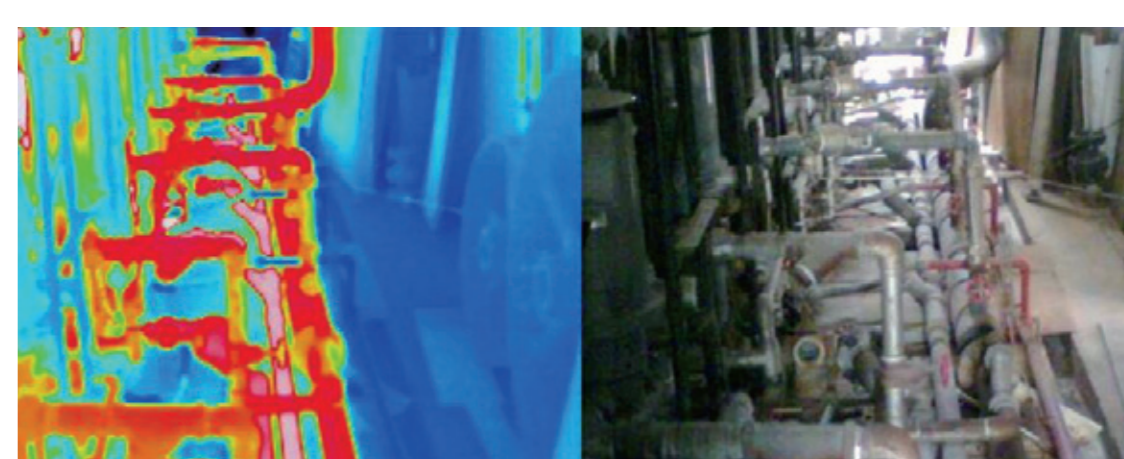
十分に排熱が回収されているか確認

排ガス簡易分析



燃焼機器が最適な燃焼状態か排ガスを分析

サーモ診断による放熱ロスの見える化



工場内の配管等を「見える化」し、費用対効果の高い対策を検討

STEP
2

ベストミックスの検討・提案

エネルギー診断で得られた情報をもとに、お客様にとって最適なエネルギーシステムを検討致します。また、概算初期投資額、ランニングコストの低減効果、省エネ達成率、CO₂削減効果等の試算を行います。



STEP
3

ファイナンスサポート

最適なエネルギーシステムの導入に必要な初期投資額の低減を図るため、獲得を目指す補助金の絞り込み、申請サポートのほか、リースを組み合わせたファイナンススキームの検討などを行います。



STEP
4

設計・施工

当社グループにおいて、システム設計から施工まで、ワンストップで行います。

STEP
5

アフターサポート

導入後の効果の検証や追加的な改善提案などのサポートを行います。

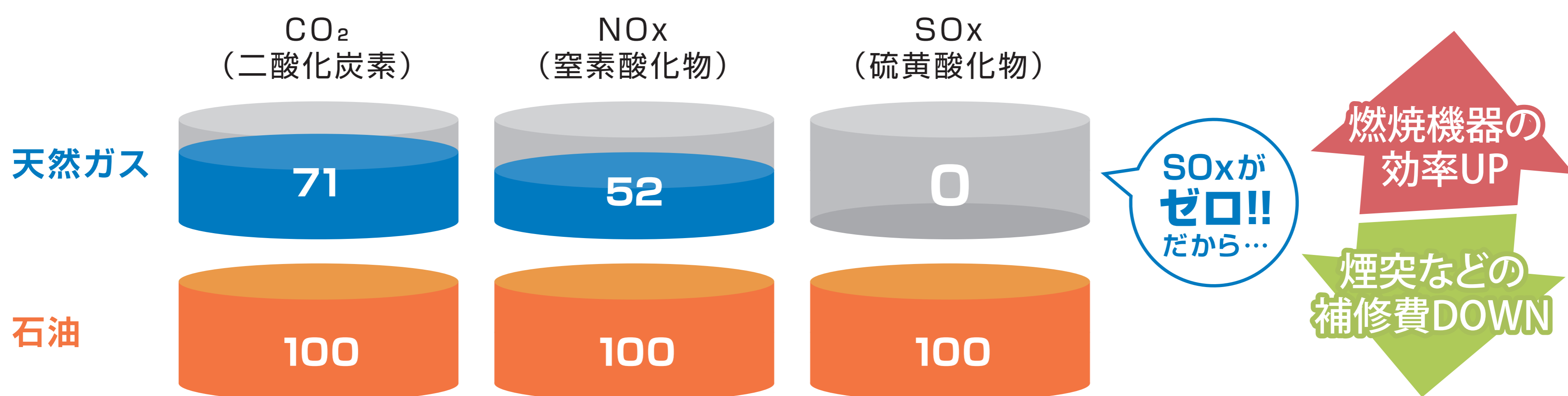
天然ガスについて

天然ガスは、重油やLPGなどの石油系燃料の代替として、ボイラや空調熱源、自家発電などの多くの熱源機器において利用可能な燃料です。

POINT 1 環境にも設備にもやさしい、クリーンなエネルギー

天然ガスは、石油系燃料に比べ、燃焼時の二酸化炭素排出量が少ないクリーンなエネルギーです。また、大気汚染の原因となる窒素酸化物の発生は極めて少なく、硫黄酸化物は一切排出しないことから、燃焼機器の効率向上や煙突などの腐食の抑制(補修費用の低減)が見込まれます。

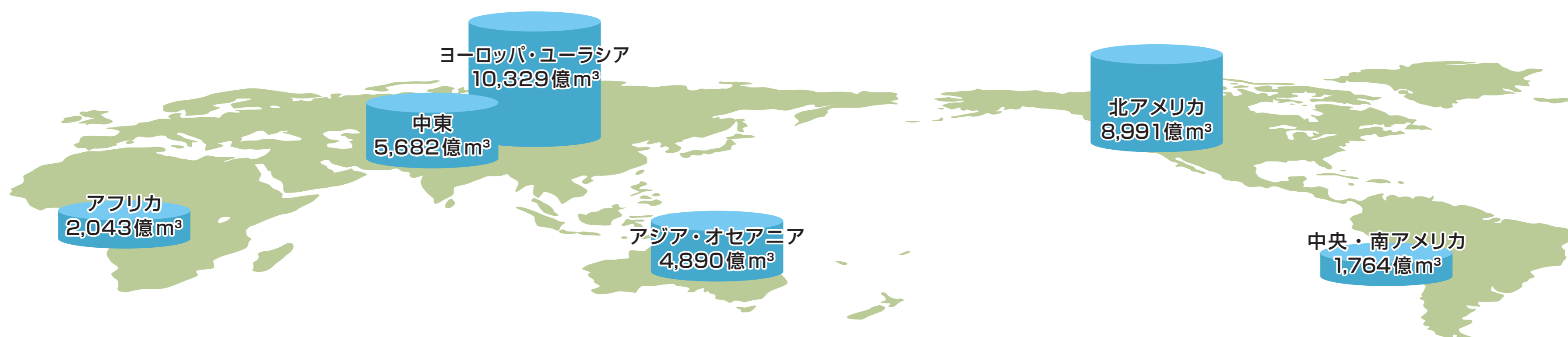
石油を100とした場合の排出量比較



POINT 2 長期的に安定した供給力と価格で、経営をサポート

天然ガスは、石油と異なり特定の国や地域に埋蔵・生産が集中していないため、供給安定性に優れています。また、価格変動の影響が比較的小さい燃料です。

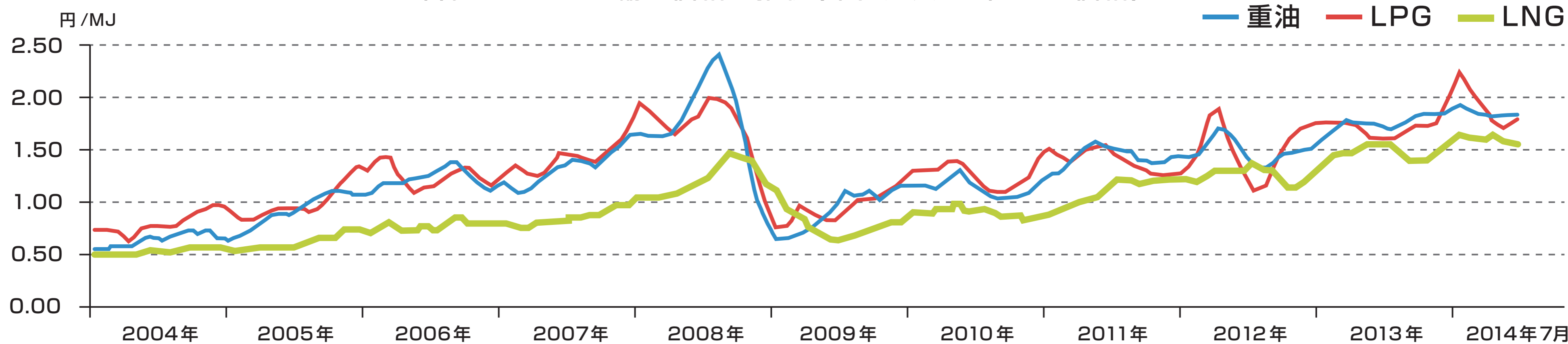
天然ガス生産量



2013年 全世界での天然ガス生産量：合計33,699億m³

出典：『BP statistical Review of world Energy2014』に基づき当社にて作成

各種エネルギー輸入価格の推移(単位発熱量当たりの価格)



出典：『財務省貿易統計』に基づき当社にて作成

天然ガスについて

POINT 3 高い安全性で、万一の時も安心

天然ガスは空気より軽く、万一漏洩した場合でも上方に拡散します。また、空気中の燃焼濃度の範囲が他燃料と比較して高く、安全性の高いエネルギーです。

	比重(空気 1.00)	空気中の可燃濃度
天然ガス	0.65	4.4 ~ 14.3%
プロパン	1.52	2.2 ~ 9.5%
ガソリン	2.95	1.3 ~ 7.6%

POINT 4 充実した補助制度でガッチリサポート

環境負荷の少ない天然ガスを利用する事業者に対し、その設備設置に掛かる費用の一部を補助する事業が展開されております。

- エネルギー使用合理化事業者支援事業(経済産業省)
- 分散型電源導入促進事業(経済産業省)
- 先進対策の効率的実施によるCO₂排出量大幅削減事業設備補助事業(環境省) …など

こんなお客さまにおすすめです



エネルギーコストの低減やCO₂排出量削減、省エネに取り組まれているお客さま

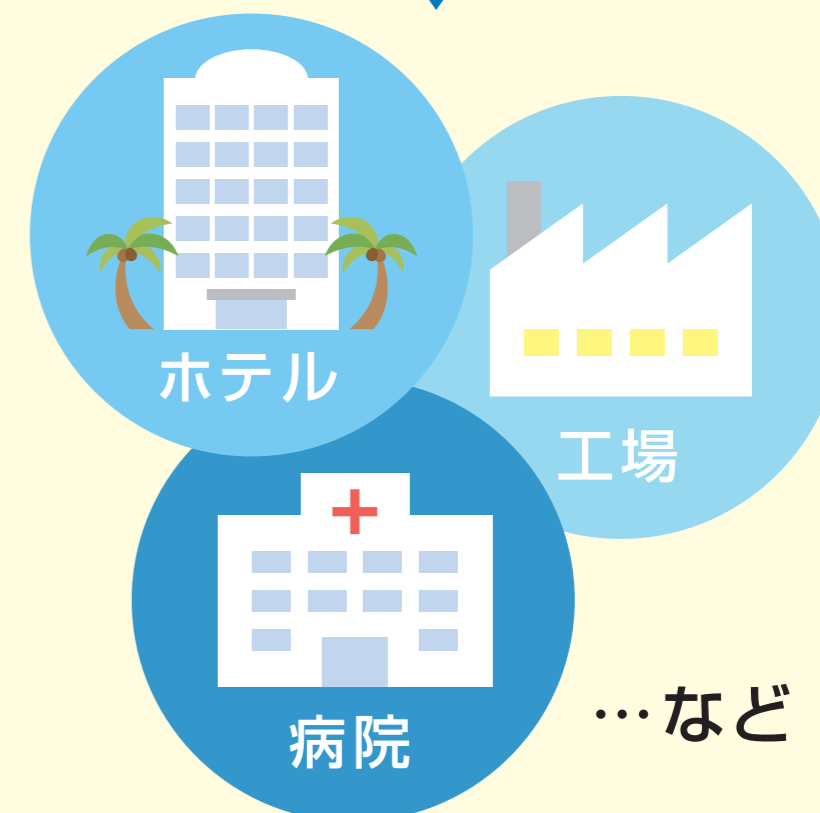


BCP(Business Continuity Planning: 事業継続計画)の観点から熱源や燃料などの二重化対策を検討されているお客さま



設備の新設や更新を検討されているお客さま

熱を多く
お使いのお客さま



1 天然ガスの導入によるエネルギー源の多様化により、供給安定性を高められる他、エネルギーコストの変動リスク低減を図り、長期的に安定した経営をサポートします。

2 御社のCO₂排出量の削減および省エネ対策の有効手段として期待できます。

3 環境に優しい天然ガスを利用することで、石油石炭税の負担も低減できます。

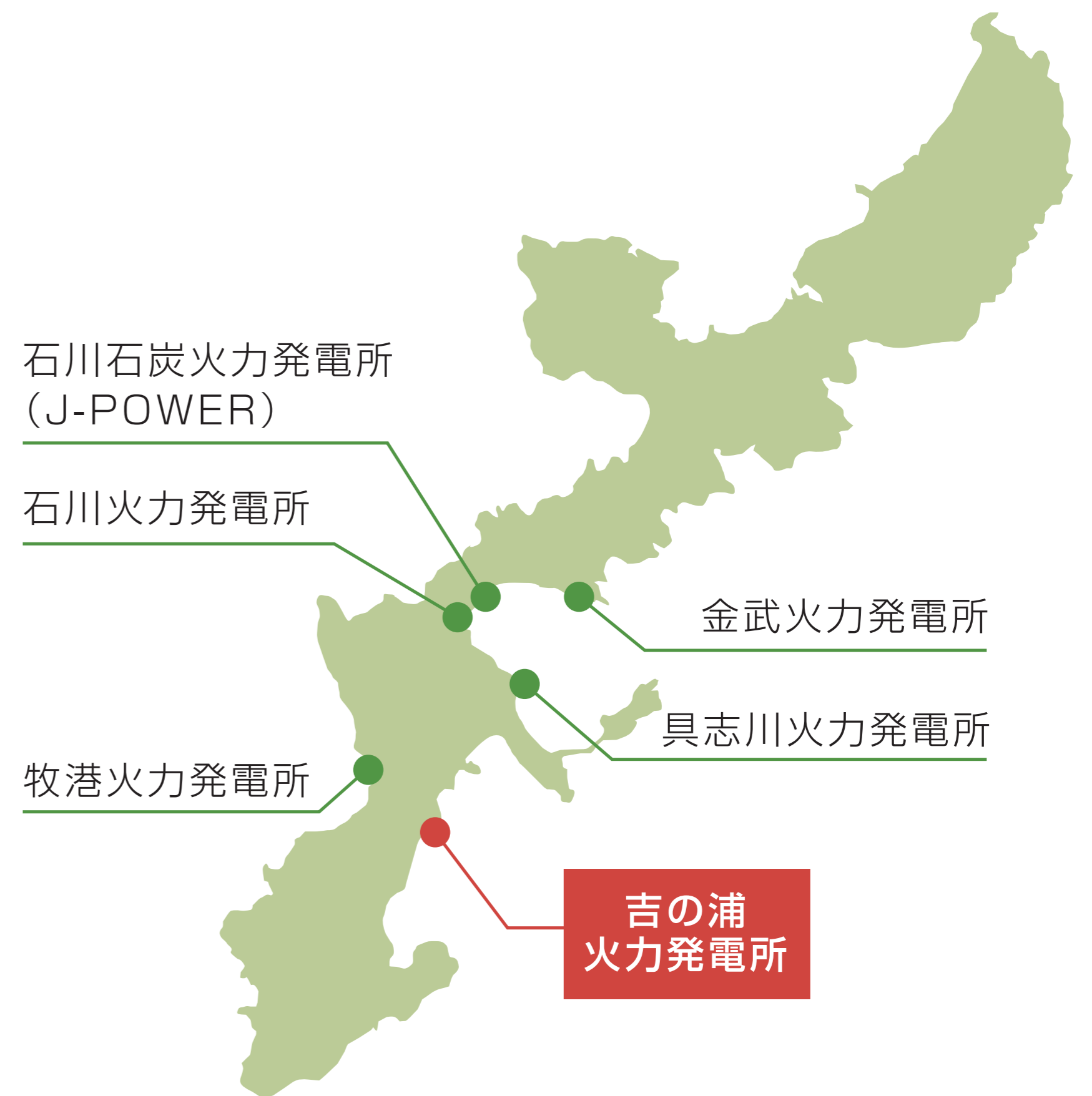
4 天然ガスは危険物ではないことから消防法の適用外となります。



吉の浦火力発電所

当社は「供給力」「エネルギーセキュリティ」「環境」の3つの観点から、天然ガスを燃料とする吉の浦火力発電所を2012年に導入しました。

所在地	沖縄県中頭郡中城村字泊 509番地2 及びその先	
出力	25.1万kW × 2機	
燃料	液化天然ガス(LNG)	
貯蔵設備	14万kl × 2基	
運転開始時期	1号機：2012年11月27日	
	2号機：2013年5月23日	
燃料調達	契約先	大阪ガス株式会社
	契約期間	2012年度から27年間 主な供給源：豪州ゴーゴン・プロジェクト
	契約数量	約40万t / 年
	受渡条件	着棧渡し(EX-Ship)

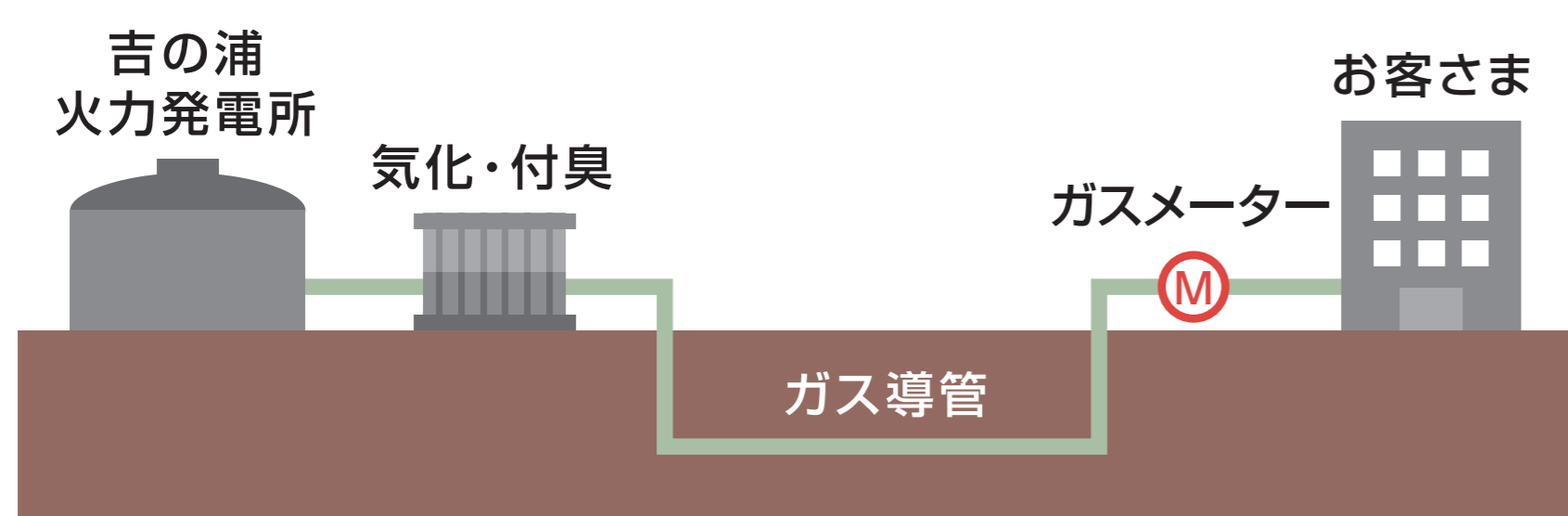


供給方法

お客様の所在地や需要量に応じて、以下の2つの供給方法があります。

導管供給

発電所近傍に位置するお客様に対しては、液化天然ガスを気化・付臭した後、ガス導管で供給します。



ローリー供給

導管の整備が難しい地域のお客様に対しては、液化天然ガスをタンクローリーにて供給します。

